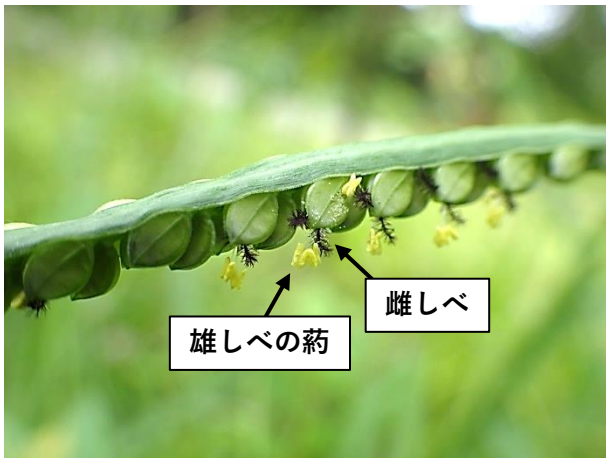


植物多様性センターの「2種のスズメノヒエ」

イネ科のスズメノヒエの仲間は、外来種が多いことで知られる植物です。学習園の草地にも外来種のシマスズメノヒエが群生しています。それでも、湿り気の多い雑木林の林縁には、まだまだ在来種のスズメノヒエが健在です。2種の違いは、茎や葉の毛の有無、小穂の形や列の数、葯の色などです。現在、情報館ではイネ科植物をテーマにしたパネルを展示中です。ぜひこの機会にご覧ください。



在来種スズメノヒエ:2列の丸い小穂に黄色の葯がチャームグ



茎と葉:全体に柔らかな毛が生え、猫の耳のような手触り



外来種シマスズメノヒエ:3~4列の尖った小穂に葯も紫黒色



茎と葉:葉耳にわずかに毛があるが、他はほとんど無毛